

授業科目	子ども音楽療育実習				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	CH31325J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP5-2 DP5-3			
担当教員	末成 妙子、藤田 稔子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、聾学校および総合支援学校で音楽科を担当してきた経験を活かし、実際に障害のある子どもたちと触れ合いながら「こども音楽療育概論」「こども音楽療育演習」を踏まえた実習をおこなう科目です。本科目では、今現在の子どもたちを取り巻く状況に即した実践を重ねていきます。受講生自ら地元保育現場と直接かかわる中で課題を見出し、音楽療育活動を展開するためのプログラムを導き出し実施します。さらに振り返りは現場の先生方と共に行い、学びを深めます。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象児の理解が深まる</li> <li>2. 現在の子どもを取り巻く環境を捉え、課題を見出すことができる</li> <li>3. 課題に対する効果的音楽療育活動が企画できる</li> <li>4. 実習を通して、療育的音楽活動の効果が実感できる</li> <li>5. 実習を通して、実際の療育的音楽活動が実施できる</li> <li>6. 自身の療育的音楽活動の振り返りができ、より対象児に合った療育の在り方を考察できる</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	40	20	40	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				20	20	20	60	
技能・表現 (DP5-3)				20		20	40	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1～4 の全てを達成したうえで、自分で更に調べ学習等で内容を深め、詳細かつ丁寧に説明ができる。また、これらのことを机上の学修に留めず、実践を繰り返す毎に技術が磨きあげられている。				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象児(実際に自分がかかわった児)について、療育のニーズも含め、説明ができる</li> <li>2. 療育的音楽活動を展開することによって、対象児の変化を捉えることができ、実習記録に記載できる</li> <li>3. 療育的音楽活動を対象児のニーズに即した内容で実施できる</li> <li>4. 自身の療育的音楽活動を考察でき、実習報告会で発表ができる</li> </ol>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション(末成妙子・藤田稔子) 授業の進め方および実習について説明し、実習に向けての準備を始める	オリエンテーション	予習:シラバスを読むこと 復習:実習に向けての課題を明らかにする	10 10
2	テーマ:こども音楽療育に必要な奏法(末成妙子・藤田稔子) 様々な楽器の奏法を学ぶ。	演習	予習:「こども音楽療育概論」「こども音楽療育演習」を復習 復習:学修が足りていない部分を補う	30 30
3	テーマ:音楽療育実践 LIVE 配信の企画立案(末成妙子・藤田稔子) 配信先の保育方針を知り対象理解を深める。	演習	予習:実習先のホームページを見てくる 復習:実習の振り返りをし、実習日誌の課題をする	30 30
4	テーマ:LIVE 配信の準備(末成妙子・藤田稔子) グループ毎にプログラムを立て、具体化させる。	演習	予習:活動計画立案のために必要な資料を集める 復習:活動計画を仕上げる	30 30
5	テーマ:LIVE 配信の準備(末成妙子・藤田稔子) グループ毎にリハーサルを実施する。	演習	予習:実習先のホームページを見てくる 復習:実習の振り返りをし、実習日誌の課題をする	30 30
6	テーマ:LIVE 配信の準備(末成妙子・藤田稔子) グループ内でリハーサルを実施して内容を検討する。	演習	予習:活動計画立案のために必要な資料を集める 復習:活動計画を仕上げる	30 30
7	テーマ:LIVE 配信の準備(末成妙子・藤田稔子) クラス内で披露し、気付きを話し合いながら内容を吟味し合う。	演習	予習:実習準備ができるように整えてくる 復習:やり残した作業を継続する	30 30
8	テーマ:LIVE 配信の準備(末成妙子・藤田稔子) 立案した計画に基づき、準備をすすめる。各グループからクラス全体への伝達を行う。	演習	予習:実習準備ができるように整えてくる 復習:やり残した作業を継続する	30 30
9	テーマ:LIVE 配信の準備(末成妙子・藤田稔子) 本番通りのリハーサルを行う。	演習	予習:練習を重ねておく 復習:実践を振り返り、実習記録に記載する	30 30
10	テーマ:幼稚園本番(末成妙子・藤田稔子) 10:10~10:30 本番	演習	予習:実習準備ができるように整えてくる 復習:やり残した作業を継続する	30 30
11	テーマ:保育園 本番(末成妙子・藤田稔子) 10:00~10:20 本番	演習	予習:練習を重ねておく 復習:実践を振り返り、実習記録に記載する	30 30
12	テーマ:保育園 本番(末成妙子・藤田稔子) 10:00~10:20 本番	演習	予習:練習を重ねておく 復習:実践を振り返り、実習記録に記載する	30 30
13	テーマ:実習事後面談【個別】(末成妙子・藤田稔子) 実習記録を基に、学びと振り返りを個別に面談をすることによって深めていく	演習	予習:実習記録を完成させておく 復習:個人面談を踏まえて振り返りをしておく	30 30
14	テーマ:実習報告(末成妙子・藤田稔子) 面談の内容も含めて、グループでの振り返りを深める	実習報告会	予習:実践を振り返っておく 復習:自分自身の課題を見出す	30 30
15	テーマ:まとめ(末成妙子・藤田稔子) 各々が進む保育現場を見据えて「こども音楽療育士」としての可能性を考察していく	演習	予習:他のグループからの学びを生かす方法を考える	

			復習:実践の内容からこれからの課題を見出す	
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	本科目は、実習であるため関連する全ての科目内容の統合です。特に、「こども音楽療育概論」「こども音楽療育演習」「保育内容・表現」「障がい児保育演習」「特別支援教育論(障がい児保育含む)」「音楽の基礎」「こどものうたあそび」「こどものうたと伴奏法Ⅰ・Ⅱ」は十分復習をしておいてください。			
テキスト	「こども音楽療育概論」および「こども音楽療育演習」で用いた教科書、配布されたプリント			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業で適宜紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	音楽、楽器演奏、こどものうた、こどもの実態に関心を寄せ音楽療育的保育のできる保育者としての資質を磨く努力をしてください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	授業への積極的な参加態度をはかるために、ミニツツペーパーを提出してもらいます。次の回で返却し各々の学生の活動内容・問題点を把握したのち、共有すべきことがあれば受講生全員と共有します。ミニツツペーパーは、その他の評価、DP5-3の20%において評価します。			

